

経済産業省

平成 22・08・31 原院第 2 号

平成 2 2 年 8 月 3 1 日

ガスの消費機器による一酸化炭素中毒事故の防止に関する注意喚起の実施について（要請）

経済産業省原子力安全・保安院

N I S A - 2 4 3 b - 1 0 - 0 1

ガスの消費機器による一酸化炭素（CO）中毒事故の防止に向けた活動については、日頃より貴団体に御協力いただいているところですが、本年に入り換気（給排気）が不十分なこと等によるCO中毒事故が10件（都市ガス4件、LPガス6件）発生し（別添参照）、特に8月には4件（都市ガス1件、LPガス3件）が発生しております。

原子力安全・保安院は、ガスの消費機器によるCO中毒事故を防止するため、以下の事項について、都市ガス事業者団体及び液化石油ガス販売事業者団体に対し、傘下のガス事業者等を通じてガスの消費機器の使用者への注意喚起を実施するよう要請いたします。

特に、店舗、集会施設等の不特定多数の人が集まる場所については、重点的に実施くださるようお願いいたします。

- （1）必ず換気（給排気）を行うこと。特に夏期、冬期等冷暖房機を使用する時期においても、室内を密閉した状況でガスの消費機器を使用しないこと。
（換気設備（換気扇等）は、室内の空気を外に排出する機能しかないので、給気のために窓を開けることが必要。）
- （2）ガスの消費機器及び換気設備は、日頃から手入れをすること。特に台風、地震及び積雪後は排気筒の異常がないことを確認すること。
- （3）万一の不完全燃焼に備えてCO警報器の設置が望ましいこと。

(別添)

平成22年一酸化炭素中毒事故(一覧表)

発生日	場所	人身被害		事故概要	機器分類	参考情報		事業形態	業務用厨房
		死亡	中毒			製造(輸入)者	型式		
2010年1月2日	東京	2	0	駐車場に止めた車内において、乗車していた2名が一酸化炭素中毒により死亡しているのが発見された。原因は、車内には10kg容器に接続されたガストーブが置かれていたことから、車内でガストーブを使用して暖をとっている間に何らかの要因で一酸化炭素が発生し、中毒に至ったものと推定される。	ガストーブ(開放式)	(株)日立	GS-20 (製造年月不明)	LP	
2010年2月2日	東京	0	2	一般集合住宅で屋外式給湯付き風呂釜を使用中、気分が悪くなった住民2名が病院での診断の結果、一酸化炭素中毒(軽症)と判明した。事故直後に、開放廊下壁面の凹状スペース内に設置されている当該機器を点火して調べたところ、浴室内の空気から高濃度の一酸化炭素が検出された。需要家に聞いたところでは、当該機器は3日前から湯温が上がりにくい状態であったことを伺った。当該機器の設置場所には、前面を覆う形で別途に取り付けられた金属製の目隠しスリット板があり、スリット板下部の隙間が荷物等で塞がれていた。また、当該機器上部にはルーバー式の浴室窓があり、浴室窓を閉めた状態でも、若干の隙間があることが確認された。さらに機器内部を調査したところ、給湯側熱交換器が閉塞されていることが確認された。高濃度の一酸化炭素が発生した原因は、スリット板下部の隙間が荷物等で塞がれ給気不足になり、熱交換器が閉塞されたためと推定される。当該機器を使用した際に高濃度の一酸化炭素を含んだ排ガスが発生し、当該機器排気部の直上にある風呂の窓の隙間から浴室内に流入したことにより、住民が一酸化炭素中毒となるに至ったものと推定される。	風呂釜(RF式)	(株)ノーリツ	T-164A (1996年8月製)	TG	
2010年2月3日	東京	0	1	深夜閉店中で無人の飲食店厨房内において、開店前の仕込みを開始した時、気分が悪くなり病院へ行ったところ、CO中毒の可能性があると診断された。原因を含めて現在詳細調査中。	業務用めんゆで器	理研機器開発(株)	SK-9 (2006年9月製造)	LP	
2010年5月24日	東京	0	2	飲食店の業務用厨房内で食器洗浄機を使用中、従業員2名が一酸化炭素中毒とみられる症状(軽症)により病院に緊急搬送された。消防及びガス事業者が現場を確認したところ、当該食器洗浄機の排気中から高濃度の一酸化炭素が検出された。現在、詳細調査中。	業務用食器洗浄機	三洋電機(株)	DW-DR-54UG (2009年4月製造)	TG	
2010年7月26日	埼玉	0	3	特別養護老人ホームの厨房内において、食器洗浄機を使用していたところ、厨房内の従業員3名が一酸化炭素中毒の症状(軽症)を訴え、病院で治療を受ける事故が発生した。原因は、食器洗浄機の不完全燃焼により高濃度の一酸化炭素が発生したことによるものと推定されるが、現在詳細調査中。	業務用食器洗浄機	タニコー(株)	TDWD-N60SGL (2004年7月製造)	LP	
2010年7月31日	東京	1	0	住宅の地下の浴室で住民1名が死亡していた。司法解剖の結果一酸化炭素中毒の疑いがあると判明した。浴室の外の開口部(からぼり)には、屋外式の都市ガス給湯器が設置されていた。詳細調査中。	ガス瞬間湯沸器	(株)ノーリツ	GQ-1612WE (1998年12月製)	TG	
2010年8月12日	福島	0	1	飲食店において、業務用フライヤーを使用していたところ、従業員1名が一酸化炭素中毒とみられる症状(軽症)を訴え、病院で治療を受ける事故が発生した。原因は、業務用フライヤーの排気口がアルミホイルで塞がれていたために不完全燃焼を起こし、高濃度の一酸化炭素が発生したことによるものと推定されるが、現在詳細調査中。	業務用フライヤー	タニコー(株)	G-TGFL-45 (1997年9月製)	LP	
2010年8月18日	香川	0	1	飲食店において、従業員1名が一酸化炭素中毒の症状(軽症)を訴え、病院で治療を受ける事故が発生した。原因は、何らかの要因により業務用ガス機器が不完全燃焼を起こし一酸化炭素が発生したこと及び換気扇の排気ダクトが粉で目詰まりしていた等、排気が十分になされておらず、一酸化炭素を含む排気ガスが室内に滞留したことによるものと推定されるが、現在詳細調査中。	業務用めんゆで器 業務用フライヤー 業務用こんろ	調査中	調査中	LP	
2010年8月18日	長野	0	7	公民館内の料理教室施設にて5台中3台のガスこんろが不点火となったため、利用者がガス業者に連絡した。現場に出動した結果、7名中3人が気分が悪いなどCO中毒の疑いのある症状を訴えたため、ガス事業者社員が救急車の出動を要請し、念のため全員7名を病院に搬送した。警察とガス事業者がガスこんろに鍋を載せて再現試験をしたところ、大鍋を載せた状態で燃焼させると一酸化炭素が発生することが確認された。	家庭用こんろ	リンナイ(株)	RTS-2KDS (製造年不明)	TG	
2010年8月24日	沖縄	0	3	菓子店において、作業中の従業員3名が一酸化炭素中毒の症状(軽症)を訴え、病院で治療を受ける事故が発生した。原因は、エアコンを使用し厨房の扉を閉め切って作業を行っていたことから給気不足になり、ガス機器が不完全燃焼を起こし、一酸化炭素が発生したことによるものと推定されるが、現在詳細調査中。	業務用蒸し器	荒畑製作所	SB1 (製造年不明)	LP	

経 済 産 業 省

平成 22・08・31 原院第 2 号

平成 2 2 年 8 月 3 1 日

社団法人日本ガス協会
会長 鳥原 光憲 殿

経済産業省原子力安全・保安院長 寺坂 信昭

ガスの消費機器による一酸化炭素中毒事故の防止に関する注意喚起の実施について（要請）

ガスの消費機器による一酸化炭素（CO）中毒事故の防止に向けた活動については、日頃より貴団体に御協力いただいているところですが、本年に入り換気（給排気）が不十分なこと等によるCO中毒事故が10件（都市ガス4件、LPガス6件）発生し（別添参照）、特に8月には4件（都市ガス1件、LPガス3件）が発生しております。

原子力安全・保安院は、ガスの消費機器によるCO中毒事故を防止するため、ガスの消費機器の使用者に対し、CO中毒事故の防止に関する別紙（NISA-243b-10-01）の事項について、注意喚起を行うこととしました。

については、貴団体傘下のガス事業者等に対し、別紙の事項について周知いただくようお願いいたします。

経 済 産 業 省

平成 22・08・31 原院第 2 号

平成 2 2 年 8 月 3 1 日

社団法人日本簡易ガス協会

会長 北嶋 一郎 殿

経済産業省原子力安全・保安院長 寺坂 信昭

ガスの消費機器による一酸化炭素中毒事故の防止に関する注意喚起の実施について（要請）

ガスの消費機器による一酸化炭素（CO）中毒事故の防止に向けた活動については、日頃より貴団体に御協力いただいているところですが、本年に入り換気（給排気）が不十分なこと等によるCO中毒事故が10件（都市ガス4件、LPガス6件）発生し（別添参照）、特に8月には4件（都市ガス1件、LPガス3件）が発生しております。

原子力安全・保安院は、ガスの消費機器によるCO中毒事故を防止するため、ガスの消費機器の使用者に対し、CO中毒事故の防止に関する別紙（NISA-243b-10-01）の事項について、注意喚起を行うこととしました。

については、貴団体傘下のガス事業者等に対し、別紙の事項について周知いただくようお願いいたします。

経 済 産 業 省

平成 22・08・31 原院第 2 号

平成 2 2 年 8 月 3 1 日

社団法人エルピーガス協会

会長 川本 宜彦 殿

経済産業省原子力安全・保安院長 寺坂 信昭

ガスの消費機器による一酸化炭素中毒事故の防止に関する注意喚起の実施について（要請）

ガスの消費機器による一酸化炭素（CO）中毒事故の防止に向けた活動については、日頃より貴団体に御協力いただいているところですが、本年に入り換気（給排気）が不十分なこと等によるCO中毒事故が10件（都市ガス4件、LPガス6件）発生し（別添参照）、特に8月には4件（都市ガス1件、LPガス3件）が発生しております。

原子力安全・保安院は、ガスの消費機器によるCO中毒事故を防止するため、ガスの消費機器の使用者に対し、CO中毒事故の防止に関する別紙（NISA-243b-10-01）の事項について、注意喚起を行うこととしました。

については、貴団体傘下のガス事業者等に対し、別紙の事項について周知いただくようお願いいたします。

経済産業省

平成 22・08・31 原院第 2 号

平成 2 2 年 8 月 3 1 日

日本液化石油ガス協議会

会長 橋本 宏 殿

経済産業省原子力安全・保安院長 寺坂 信昭

ガスの消費機器による一酸化炭素中毒事故の防止に関する注意喚起の実施について（要請）

ガスの消費機器による一酸化炭素（CO）中毒事故の防止に向けた活動については、日頃より貴団体に御協力いただいているところですが、本年に入り換気（給排気）が不十分なこと等によるCO中毒事故が10件（都市ガス4件、LPガス6件）発生し（別添参照）、特に8月には4件（都市ガス1件、LPガス3件）が発生しております。

原子力安全・保安院は、ガスの消費機器によるCO中毒事故を防止するため、ガスの消費機器の使用者に対し、CO中毒事故の防止に関する別紙（NISA-243b-10-01）の事項について、注意喚起を行うこととしました。

については、貴団体傘下のガス事業者等に対し、別紙の事項について周知いただくようお願いします。